

第5回常任理事会報告

日 時 平成22年9月13日（月）午後1時～午後2時30分
場 所 日本歯科医師会 801会議室
出席者 <会 長> 江藤一洋
<副 会 長> 住友雅人
<総務理事> 黒崎紀正
<常任理事> 川添堯彬、山崎芳昭、江里口 彰、寺下正道、
上西秀則、伊藤公一、後藤滋巳、栗原英見、
荒木孝二
<広報委員> 倉林 亨
□日本歯科総合研究機構
<研究部長> 石井拓男
欠席者 <副 会 長> 井出吉信
<常任理事> 佐藤田鶴子、福田仁一、佐々木啓一

[議長 黒崎総務理事]

1. 開 会

住友副会長より、開会の辞。

2. 挨拶

江藤会長より、挨拶がなされた。

3. 報 告

1) 一般会務報告

黒崎総務理事より、次の資料に基づき、報告がなされた。

一般会務報告（平成 22 年 7 月 5 日～9 月 12 日）

第 4 回常任理事会報告

2) 第 22 回日本歯科医学会総会準備状況報告

田中準備委員長より、次の資料に基づき、報告がなされた。

第 22 回学会総会関係報告（平成 22 年 7 月 5 日～9 月 12 日）

第 22 回学会総会準備委員会組織図

趣意書

計画概要

また、本日開催した総会第 3 回常任委員会について、報告がなされた。

3) 会計現況報告

山崎常任理事より、平成 22 年度 8 月末現在の学会会計、第 22 回日本歯科医学会学術大会会計収支計算書の報告がなされた。

4) 重点計画の推進

(1) 歯科医療への学術的根拠の提供

▶ タイムスタディー調査について

黒崎総務理事および荒木常任理事より、資料に基づき、報告がなされた。

▶ 分科会医療保険担当者への情報配信について

住友副会長より、資料に基づき、報告がなされた。

▶ 「薬理作用に基づく医薬品の適応外使用の例」に関する調査協力について

住友副会長より、資料に基づき、報告がなされた。

▶ 歯科診療ガイドライン・ライブラリーについて

黒崎総務理事および石井研究部長より、資料に基づき、報告がなされた。

(2) 歯科医療技術革新の推進

▶ ポータブル歯科用機器に関するアンケート調査について

江藤会長より、資料に基づき、報告がなされた。

(3) 専門医制度の在り方の検討

特になし。

(4) 学会機構の改革

特になし。

(5) 国際連携の推進

▶ 第98回FDI年次世界歯科大学について

黒崎総務理事、江里口常任理事、栗原常任理事より、報告がなされた。

(6) 歯科医学未来構想の構築

特になし。

5) 会長報告

江藤会長より、日歯役員会提出資料に基づき、①日歯合宿勉強会での検討結果「超高齢社会における歯科医療の役割について」、②平成23年度制度・予算に関する要望書、③平成23年度税制改正に関する要望書、④医薬品の使用上の注意の改訂、⑤国立がん研究センターと日本歯科医師会間のがん患者歯科医療連携合意書、⑥FDI世界歯科連盟総会における審議事項について、⑦日本歯科薬物療法学会における「歯科薬物療法認定歯科医、歯科薬物療法認定歯科衛生士」の認定制度について、⑧モデル・コア・カリキュラム改訂に関する専門研究委員会(第2回)、⑨歯科医師需給問題ワーキングチーム答申書案、⑩「ホメオパシー」への対応について、⑪国民歯科医療のあるべき姿委員会報告書、⑫日歯第116回代議員会における事前質問(学会関連)について、報告がなされた。

6) その他

▶ 中医協報告

住友副会長より、7月28日・8月25日に開催された中央社会保険医療協議会総会について、資料に基づき、報告がなされた。

▶ 学術振興会科学研究費補助金「系・分野・分科・細目表」に関する意見募集への対応について

江藤会長より、資料に基づき、報告がなされた。

▶ 国際歯科研究学会日本部会(JADR)報告

栗原常任理事より、資料に基づき、報告がなされた。

▶予備評議員の交替について(日本顎関節学会)

黒崎総務理事より、資料に基づき、報告がなされた。

全体の一括質疑応答として

○伊藤常任理事より、国立がんセンターと日歯の連携について、各学会との協力体制は敷かず日歯独自で行うのかと質したところ、江里口常任理事より担当課に確認し報告する旨回答。関連して、石井研究部長より、現在多くの病院で口腔ケアが行われているが、歯科の診療報酬の位置づけが不明確であり、入院時管理料に含まれてしまう問題について、意見開陳がなされた。

○江里口常任理事より、日歯が会員向けに配布したリーフレット「一般歯科診療ガイドラインによる院内感染対策Q&A／佐藤田鶴子常任理事監修」について、紹介がなされた。

○住友副会長より、8月30日付AERAの記事「歯科大定員割れは人災」の記事について、紹介がなされた。

4. 協 議

1) 重点計画の推進

(1) 歯科医療への学術的根拠の提供

▶日本歯科医学会ワークショップについて

住友副会長より、ワークショップを次の日程で開催することについて諮られ、全会了承。詳細については今後、執行部で検討するとした。

また併せて、宿泊場所はホテル・メトロポリタンエドモント飯田橋を使用、特別講演は国立長寿医療研究センター総長の大島伸一氏にお願いしている旨、準備状況について説明がなされた。

[開催日] 平成22年11月26日(金)午後2時00分～午後9時00分
平成22年11月27日(土)午前9時00分～午後0時15分

(2) 歯科医療技術革新の推進

特になし。

(3) 専門医制度の在り方の検討

特になし。

(4) 学会機構の改革

特になし。

(5) 国際連携の推進

特になし。

(6) 歯科医学未来構想の構築

特になし。

2) 事業計画の推進

(1) 顕彰審議会への諮問について

黒崎総務理事より、顕彰審議会への諮問について諮られ、全会了承。
諮問内容は下記のとおり。

平成 22 年度日本歯科医学会会長賞候補者の選考について

(2) 専門分科会資格審査委員会への諮問について

黒崎総務理事より、専門分科会資格審査委員会への諮問について諮られ、全会了承。

諮問内容は下記のとおり。

日本歯科医学会認定分科会登録申請に対する登録の可否について

(3) 平成 22 年度学術講演会の企画について

黒崎総務理事より、資料に基づき諮られ、「副題の『生活を支える歯科医療』は誤解を招く表現ではないか？」等の意見があり、協議がなされた。

江里口常任理事より、日本歯科医師会の生涯研修事業と日本歯科医学会の学術事業のすみ分けを考慮し、学会はもう少しアカデミックなテーマ・内容をお願いしたい旨要望。

副題については委員会にて再検討を要請することを確認し、黒崎総務理事に一任された。

(4) 後援名義貸与について

黒崎総務理事より、資料に基づき諮られ、全会了承。

(5) 役員派遣について

黒崎総務理事より、資料に基づき諮られ、全会了承。

3) その他

全体の一括質疑応答として

○上西常任理事より、「院内感染対策Q&A」の中で、口腔内に直接触れない器具の消毒、滅菌を解説しているが、インフルエンザ等の対策としては、中水準及び低水準消毒薬を併用すべき旨発言。

○寺下常任理事より、病院歯科が減っている現状を鑑み、口腔ケアを行う病院に常勤の歯科医師を増やすシステムを構築したらどうかと提案。江藤会長より、病院歯科の実態を把握し、日歯とともに検討したい旨回答。また、住友副会長より、チーム医療の観点から検討してみてはどうかとの提案がなされた。

5. 閉 会

住友副会長より、閉会の辞。